



校長室だより2

黒部市立村椿小学校

文責：校長 寺島紀子

令和8年1月27日

第32号

早いもので1月も最終週となりました。今学期も児童玄関前には出島の島さんが素敵な季節の飾り付けをしてくださっています。先週まではフェルトで作った「ダーラナホース」（スウェーデンの「幸福を呼ぶ馬」）だと、午年ですから！が、そして今週からは折り紙で作った節分飾りが登場しました。花瓶に生けていっしょに飾ってくださるマンリョウ（万両）も、赤と緑のコントラストがきれいで。



何かと気ぜわしい日々の中でも季節を感じるひと時を大切にしたいと思います。いつも身边にある材料で一工夫して楽しい飾りを用意してくださる島さんには、感謝の気持ちでいっぱいです。

久しぶりの大雪で、「雪かきボランティア隊」出動！

大寒の時期らしく、先週半ばからすっかり雪模様となっています。学校では「5年前の再来か」と気象情報を確認しつつ、大事をとって対応に当たりました。5・6年生スキー学習は延期とし（23日→2月2日）、また全校臨時休業の可能性を想定した安全メールも23日（金）に発出しました。保護者の皆様には安全メールへの対応をしていただき、ありがとうございました。結果的には先週末の雪がさほど大したことにはならず、一安心でしたが、まだまだこの先も冬将軍の動きに要注意です。



さて、ここ数日、毎朝登校してくるなり進んで除雪作業をしてくれる子供たちがいます。特に先生に促されるわけでもなく、まさに自主的に行行動するこの子供たちは、まさに「雪かきボランティア隊」です。玄関前のタイルの部分で滑りそうになりながらも一生懸命作業する姿、また体育館の社会体育入口への階段を「自分も夜に使うから」と心を込めて雪かきしている姿を見ていると、素敵だなあと思います。



もしかするとこうした作業が半分は「雪遊び」になっているのかもしれません。それでもいいと思います。進んで取り組むボランティア活動は、自分なりの楽しみを見付けながら続けるのが一番ですから。「雪かきボランティア隊」の子供たち、ありがとう！
楽しく感謝して…「学校給食週間」

21日（水）～28日（水）は黒部市の学校給食週間です。本校でも「毎日の給食で身につけよう 食の習慣～健康・感謝・マナー～」をテーマに設定し、様々な取組を行っています。



21日は本校6年生が家庭科の学習で考えた献立が給食に登場しました。



題して「冬物たっぷり！心から温まるおうち給食」 よもぎパンと牛乳、レンコンの肉詰め、カブのすのもの、ヤーコン入りマー婆豆腐と、普段の給食には出ない食材も意識して使ったメニューでした。



また、この期間中は給食に携わってくださる方々への感謝の手紙や、給食に関する標語等を、各学年の代表が日替わりで発表しています。



それぞれの作品はランチルーム前のホワイトボードにも掲示して紹介しています。まずは「感謝しておいしくいただく心」が育つききっかけになればと思います。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしています！
校長室だよりへの感想・学校へのご意見もお願いします 切り取り できればお名前or児童名()

1月の短歌「音」(または自由)を紹介します

- はつもうで大きくならそうがらがらがら ことしもきっといい年に (1年K・Hさん)
- 冬の空静かに落ちる雪の粒 ひらひらひらりかなでる音色 (5年S・Rさん)
- 出かける日運転しながら歌うママ 知らない曲でも気持ちがはずむ (4年S・Cさん)
- 静かだなあふとんかぶって幸せだ かと思ったら爆音アラーム (6年I・Aさん)
- ねえちゃんの三このめざまし「じりりりりー」ねえちゃんおきずにおきたのわたし (1年I・Aさん)
- お仏壇お参り前に鳴らすお鈴 写真の祖母が少し笑った (Y・Y先生)

歌の読み上げも上手になりました。

日頃は視覚（目に見えるもの）を中心に歌を詠むことが多い中、今回はあえて聴覚（耳に聞こえるもの）にフォーカスしました。一生懸命耳を澄まして作歌してくれたことが分かり、嬉しく思いました。

さて、2月には今年度第3回目の校長杯短歌大会を行います。これで最後の大會です。是非自信作を応募（投歌）してください。楽しみにしています。



シリーズ「教室におじゃまします」1月21日(水)1年图画工作科の巻

前の時間に紙粘土で成形した飾りに「すてきないろをつけよう」の時間でした。「『すてきないろ』といふのは人それぞれがうよね」とまずはみんなで確認しました。

子供たちが絵の具セットを使うのはしばらくぶりでした。水入れの水の量、大小3つある「部屋」の使い方（大きいところで洗う、小さい部屋2つで順にすぐ、1つの小さい部屋は「とうめいのえのぐ」としてチューブの絵の具をのばすのに使うこと）等を、石井先生は子供の反応を引き出しながら丁寧に説明していました。とても分かりやすいです。

さあ、次はいよいよ各自の色つけです。絵の具をさまざまに混色する中で「ピンクができた！」、「水色ってどうやって作るの？」「茶色になったよ」など、子供たちのつぶやきがどんどん出てきます。出たところ勝負のように思い切って着色していく子もいれば、土台の模様ごとに色を変える子、点描のように少しつ色をのせていく子と、筆の動かし方にも個性が見られました。実際に楽しそうです。それそれが自分の色に納得をし、「すてきな色になった！」と満足気な表情でした。一人一人が落ち着いて学習に集中できる雰囲気の中で各々の作品が仕上がってきました。



<おまけのひとりごと>子育てをする上での食事に関するこだわり、皆さんはおありますか？ 私はというと、かつて子育て真っ最中の頃は「夕食は極力家族そろって食べる」ということにこだわっていました。忙しい中でもなんとか夕食だけは皆で一緒に食卓を囲む、その日にあったことをいろいろと話しながら食べる、ということを大切にしていました。その母親のこだわりのせいで、仕事が遅い日は皆、仕方なくお腹をすかせて待っていたことも。また子供は2人ともスポーツも塾も行かせずじまいでした…。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしています！

校長室だよりへの感想・学校へのご意見もお願いします

切り取り

できればお名前or児童名()